

第1回 夢見るホッケー教室&ホッケーカップ IN東京 実施報告書



1. 事業名

夢見るホッケー教室&ホッケーカップ in 東京

2. 事業内容

(1) 参加者名

【参加者】

THA 所属ジュニアチームの選手 合計 57 名

【講師】

小野真由美 (さくらジャパン)

及川栞 (さくらジャパン)

【運営スタッフ】

一般社団法人東京都ホッケー協会

右川誠治、河原茂光、菅野芳哉、平田麻佑子、市川明、多氣洋平

特定非営利活動法人メトロ東京ホッケー&アスリートクラブ

前田祐介、唐澤央、長谷川慧、香山貴史、矢ノ下徹、萩中克章、

寺重侑希、小森彩花

日本ホッケー協会

内藤副会長はじめ 2 名

(2) 会 場 大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場 サウスピッチ (東京都)

(3) 期 日・スケジュール

【期 日】令和 2 年 9 月 27 日 (日)

【スケジュール】

10:00 受付開始

10:30 開会式 挨拶

講師紹介

ウォーミングアップ

スキルトレーニング

※年齢別カテゴリーに分かれて実施。

代表選手が順番にグループに参加しながら指導。

11:50 オリンピアンへの質問コーナー

12:00～13:00 昼食

13:30～ 交流ゲーム (再集合 13:00)

代表選手を交えてカテゴリー別に対戦

(4) 目的

東京オリンピックイヤーの雰囲気を高めるため、全国の子どもたちにホッケーオリンピックを派遣しホッケーの楽しさを伝える。同時にホッケーカップを開催し、ホッケー技術の向上を図る。東京での開催においては、東京 2020 オリンピックのホッケー競技会場である大井ホッケー競技場でのホッケー体験を通じて、広く都民の健康増進を図ると共にスポーツ、ホッケーへの関心や理解を深め、積極的にスポーツに参加する機会を提供する。

(5) 成果

令和2年9月27日(日)、東京2020オリンピックの開催地である大井ホッケー一場において、THA所属ジュニアチーム(小中学生)を対象にホッケー教室と試合を実施しました。

低学年(1年生～2年生)、中学年(3年生～4年生)、高学年・中学生(5年生～6年生・中学生)の3つのクラスに分かれて、パスやドリブル等レベルに応じた練習を行いました。メトロ東京ホッケー&アスリートクラブの選手が中心となって指導し、そこに代表選手が各クラスを巡回し、お手本を見せたり、アドバイスをするなど、手厚い指導を行いました。特に高学年・中学生クラスの子どもたちは、日本代表選手からアドバイスや直接パスを受け、ホッケーのスピード感や高い技術を身近に感じることができ、大きな刺激を受けた様子でした。今後の成長へと繋がる、貴重な経験になったと思います。

午後の部のホッケーカップでは、キッズチーム(男女混合・1年生～3年生)とJr女子、Jr男子(いずれも4年生～中学生)に分かれ、キッズチームは総当たり戦からの順位決定戦を行い、Jrチームは男女それぞれで総当たり戦を行いました。日本代表選手を交え、日本代表選手の積極的な声かけに子どもたちも応え、終始活気ある試合が行われました。また、各チームで自発的に作戦会議をする姿が見られ、Jrチームになると、代表選手が実際に試合で見た3Dドリブルなどに果敢にチャレンジするなど、子どもたちが各カテゴリーに沿った形で自発的に行動する姿を常に見ることが出来ました。

(6) 評価

『ホッケー技術の向上』について、THA所属のジュニアチームは普段サンドベースのグラウンドで練習を行っているため、ウォーターベースのグラウンドでの練習には、当初慣れない様子の子どもたちでしたが、パスやレシーブの練習を重ねるに連れ、スピーディーなホッケーの感覚を養うことが出来たのではないかと

思います。また、日本代表選手のスキルを目の当たりにし、動きながらのレシーブをいつもより大袈裟にしてみたり、いつも以上に膝を曲げてレシーブするなど、基本的なことではあるものの、さくらジャパンの選手の話をも忠実に聞いて実践していました。レシーブがより安定し、スキルアップにつながっていると見受けられました。

次にトップ選手への『憧れ喚起』については、代表選手のアドバイスを真剣に聞き、積極的に質問する姿からは、日本代表選手への尊敬や憧れの眼差しを感じることができました。ホッケーは他競技に比べ日本代表選手が身近な存在であることが魅力の一つだと思います。今回の交流をきっかけに、日本代表選手をより身近に感じることができ、将来トップ選手を目指す子どもたちが1人でも増えることを願っています。

最後に、コロナ対策については、子どもから保護者の方まで会場を出入りするすべての方に検温や手指消毒を行うなど徹底したコロナ対策を実施することが出来ました。

次回のホッケー教室は、10月24日（土）に開催予定ですが、ビギナーズ向けということで、よりホッケーを理解し、楽しんでもらえるような内容を設定し、ホッケーを継続的に続けたい、応援したいと思ってもらえるような教室にしたいと思います。

引き続きコロナ対策を徹底し、東京都でのホッケー普及とホッケー活動へ積極的にご参加いただく機会を提供できるよう努めてまいります。